

# 沖縄県立八重山病院 附属診療所のご紹介

## 拡大図



✈️ 飛行機所要時間 ✈️

東京	← 約3時間15分 →	石垣
大阪	← 約2時間30分 →	石垣
那覇	← 約1時間00分 →	石垣

## 先輩より



小浜診療所  
石坂真梨子

離島勤務直前の半年間（医師4年目の10-3月）を過ごさせて頂きました。石垣島自体が「離島を持つ離島」という特殊な環境であることから、八重山病院は都会の大病院と比べると実にアットホームな雰囲気でありながら、かつ各科の専門医が揃っているという素晴らしい環境が整っています。半年間でしたが内科を中心に、離島診療所で必要な知識やスキルを身につけるといった共通理解のもと、各科の先生方にみっちり教育させて頂きました。

島に赴任した今も、後ろにはあの先生方がいて下さるといふ安心感のもと、困難な症例に日々悪戦苦闘しながらも楽しく診療させて頂いています。興味をお持ちの皆さん、ぜひまずは一度、八重山病院に遊びに来てください。お待ちしております！



南大東診療所  
菊池徹哉

八重山病院では内科と救急科を中心に研修を行いました。内科では週2回の新患外来と主治医として病棟管理ができます。外来も病棟も必ず指導医が近くにいるので、安心感を持ちながら研修をすることができました。病棟では気胸、肺炎、虚血性腸炎、急性腎不全、心房細動などを担当しました。また、石垣島周辺離島に住んでいる患者を担当した際に、本人、家族、離島診療所医師と連携を行い退院後のケアを考えたことも総合診療医として勉強になりました。また、救急では感冒から心停止や外傷まで様々な症例を経験でき、胸腔ドレーン、中心静脈確保、気管挿管、骨折/脱臼整復、神経ブロックなど手技を経験できました。石垣島で唯一の総合病院だからこそ症例が集まり、教育熱心な指導医のおかげで素晴らしい研修が出来ました。この経験が離島診療所であらゆる科のどんな疾患が来ても初期対応ができる能力とそれを統合し患者さんの問題を解決する能力が養われたと思います。

## 募集要項

- 募集定員：4名
- 募集期間：随時受付（選考結果等は、12月頃通知予定）
- 選考方法：書類審査及び面接
- 提出書類：履歴書（指定様式）、医師免許証（写し）
- 採用職種：専攻研修医師（後期研修医）
- 身分：地方公務員法で定める一般職の地方公務員
- 勤務時間：原則、週38.75時間
- 給与年額：7,050,000円～7,345,000円（見込）※手当額含む
- 諸手当：時間外手当、期末手当、休日勤務手当、退職手当等
- 休暇制度：年次有給休暇（10～14日/年）、特別休暇、慶弔休暇等
- 社会保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険
- その他：福利厚生あり（宿舍貸与、健康診断、ワクチン接種等）

## お申込み・見学問合せ

沖縄県立八重山病院  
総務課 研修担当

〒907-0002 沖縄県石垣市真栄里 584-1

☎ 0980-87-5557 FAX 0980-87-5835

✉ xx036056@pref.okinawa.lg.jp



見学申込み



いつでも見学・Web相談可能です！気軽にお問合せください。



Facebook やってます！「沖縄県立八重山病院 内科・総合診療科」  
(<https://www.facebook.com/沖縄県立八重山病院-内科総合診療科-101446898359504>)



八重山病院 南ぬ島

検索



撮影地：波照間島

島  
医  
者  
に  
な  
る。  
沖縄県立八重山病院  
総合診療専門医プログラム  
「南ぬ島」

# 沖縄の離島医療は究極の地域医療だ

## 病院紹介



沖縄県立八重山病院  
院長 篠崎裕子

当院は、平成30年10月1日に地域に必要な医療提供体制の更なる充実を図るため、新築移転しました。24の診療科を有する日本最南西端の唯一の総合病院であり、4つの離島附属診療所を備えています。

主に救急医療、小児医療、周産期医療、精神科医療など政策的医療を担っており、八重山圏域における2類感染症指定病院、地域災害拠点病院、地域がん支援病院として地域医療の要としての役割を持っています。

地域医療を学ぶ上で最も良い環境を提供できると確信しています。ぜひ1度、南の島へお越しください。スタッフ一同お待ちしております。

## ゆりかごから墓場まで急性期から慢性期まで 総合力を身につけ実践できるプログラム

## プログラム紹介



沖縄県立八重山病院  
医療部長 吉嶺厚生

いらっしゃいませ。当プログラムのパンフレットを手にとって頂きありがとうございます。表紙の写真は波照間島の天の川です。八重山群島の魅力は、何と言っても美しい自然です。そして素朴な人々、豊かな芸能。ここには、あなたを感動させるものがたくさんあります。

総合診療の後期研修は、知識、技術もさることながら、人間力を基盤とした応用力を養うことが大切と考えています。病院はできたてほやほや、設備も新しいのですが、人も資源も限られた中で診療となります。教科書通りではない、もう一ひねりの工夫が必要となるのです。各離島診療所と八重山病院で学ぶと言うことは、いろいろな事態に対応できる総合力を身につけるといえます。それを「島医者になる」と表現してみました。

これも何かの縁です。国境の医師たちと一緒に学んで見ませんか？

## 島医者について



沖縄県立八重山病院  
総合診療科 酒井達也

皆さん初めまして。当プログラム最大の特徴である離島医療、「島医者」について説明させていただきます。沖縄県には有人離島が39ヶ所あり、そのうち16ヶ所に県立離島診療所が配置されています。全ての離島診療所が医師1人、看護師1人、事務員1~2人体制となっています。人口は各離島約300人~2,000人です。島唯一の医療機関であり子供から高齢者まで、また内科だけでなく外科、整形外科、小児科など幅広い疾患に対応します。そして急患の際は初期対応を行い後方病院へ搬送します。また日々の診療だけでなく、予防接種や学校検診、高齢者福祉施設巡回などの業務もあり、多職種連携を実践することができます。そして離島という特性を活かし、地域全体への介入（地域志向ケア）を実践しその成果を実感することが可能です。まさしく離島医療は究極の地域医療と言えます。

そしてその地域で一番必要とされるのは、まずは何でも相談できる総合診療医、まさしく「島医者」です。総合診療医としての力を発揮できる離島医療を是非やってみませんか？離島に赴任するまででなく、離島赴任後も全力で皆さんのことをサポートいたします。是非一緒に沖縄の離島を守っていきましょう！

## 地域 志向ケア

離島のかかえる問題を抽出し（地域診断）、他職種と連携をしながら問題を解決していく力を身につけ実践していきます。

## 離島 医療

## 救急 医療

八重山医療圏唯一の急性期病院で幅広い救急対応力を身につけ、離島で実践していきます。

## 家庭 医療

家庭医療のコンピテンシーを学び、身につけ、患者中心の医療、家族ケア、包括的ケア、予防医療などを実践していきます。

## 内科

### ●内科の紹介

内科は消化器、循環器、呼吸器、腎臓、感染症内科を中心に、常勤17名の診療体制です。各自の専門性を活かして内科全体での勉強会やミーティングを持ち、一体感をもって他科とも連携を図りながら診療しています。

### ●研修内容

外来では基本的な生活習慣病の対応を含めたプライマリケア、入院では救急患者を中心に年間200例程度（受け持ち10名程度）の症例を担当していただきます。残念ながら血液、内分泌疾患については専門家がないため、島内外との連携が必要になります。自ら管理できる範囲を適切に見極めることも島医者には必要ですので紹介のタイミングを考えていくこと自体もトレーニングです。

### ●メッセージ

当院の魅力は若い人がどんどん院内環境を変えていけるような自由度にあります。もちろん希望に応じて研修をアレンジすることも可能です。完璧な病院はどこにもありません。足りない部分は皆さんと我々と一緒に良くしていきましょう。

## 救急

当院ERは北米型ERで1次・2次救急医療が主体です。内科 common disease のみならず、各科 minor emergency についても主治医として経験していただけます。

規則正しい勤務時間で、テキスト・文献を読み漁る時間も十分に取っていただけるので、僻地離島診療で必須となる知識・手技についての基礎固め・総復習をしていただける研修になると思います。

## 離島 診療

地域唯一の医療機関として、新生児から高齢者まで全ての住民の方の健康づくりに取り組んでいます。地域に住むことで、個人の健康状態の変化だけでなく、地域の健康課題を発見しやすい環境です。

自身が取り組んだ結果が目に見える形で現れるので、働きがいがあります。

また地域行事は、患者医師関係を越えて住民の方と交流する機会であり、「島医者」の醍醐味ではないでしょうか。次の「島医者」を心よりお待ちしております。

## 小児科

石垣島では年間約600人の出生があり、全てが八重山病院で生まれます。新生児診察、一ヶ月検診、予防接種時の発達確認、育児アドバイスなど、小児科予防医学が経験できます。

また、新生児仮死、低出生体重、感染症、喘息、アレルギー、けいれん重積、てんかん、発達障害、川崎病、腸重積、先天性心疾患など、希な疾患も含めて小児科全般を経験できるのは島唯一の総合病院ならではの研修終了時には、子どものプライマリケアが身についているでしょう。